

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部福祉課		■担当係	社会福祉係
■評価事業名称	臨時福祉給付金(単独)			
■事業開始年度	平成28年度			
■評価事業コード	040300 - 338		■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	02 高齢者や障がい者などの自立した生活への支援		
	■施策	05 生活困窮者への支援		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業目的と概要	平成27年度臨時福祉給付金に関し、事務の遅延により、平成27年度中に給付決定を行うことができなかった対象者(322人)に対し、改めて給付決定を行い、給付金相当額を補償する。給付額は、1人あたり6,000円。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成28年度事業計画	平成28年度事業量実績
01	臨時福祉給付金(単独)	平成27年度臨時福祉給付金の対象者		給付決定者 297人 給付辞退者 2人 給付決定に至らなかった者 23人

3. 投入コスト情報

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費				1,823	
人件費				375	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				2,198	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	指標の説明
01	給付決定者				297人	

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況	達成状況の分析	問題点・課題等		
<p>● A. 順調 ○ B. 概ね順調 ○ C. 遅れている</p>	<p>対象者(322人)について、再度申請期間を設け給付事務を行った結果、給付決定者297人、給付辞退者2人、給付決定に至らなかった者23人となつた。当初の目的は達成したものと考える。</p>	<p>なし</p>		
1. 直接的な受益者の範囲	2. 事業廃止の影響	3. 国・県・民間との競合関係の有無		
<p>○ 不特定多数に及ぶ ○ 特定されるが多数に及ぶ ● 特定少数に限定される</p>	<p>○ 大きな不利益やリスクが生じる ○ ある程度の不利益やリスクが生じる ● 不利益やリスクは小さい</p>	<p>○ 類似の事業はない ○ 類似の事業はあるが競合はない ● 類似の事業があり競合する</p>		
4. 事業へのニーズの変化	5. 施策の改善需要度(市民意識調査)	6. 施策の優先度(市民意識調査)		
<p>○ ニーズが高まっている ○ ニーズは変わらない ● ニーズが低下している又は合致しない</p>	<p>● 順位が高い ○ 順位が中程度 ○ 順位が低い</p>	<p>● 順位が高い ○ 順位が中程度 ○ 順位が低い</p>		
7. 他市町村に比較しての優位性	8. 実施主体の代替性	9. 経済性・効率性の向上		
<p>○ 先進的またはユニークな事業である ● 他と同程度の事業である ○ 遅れている事業である</p>	<p>● 民間委託等の拡充は難しい ○ 民間委託等の拡充が十分に可能 ○ 全部委託や実施主体の移行が可能</p>	<p>○ 今以上の効率化や改善は難しい ● 効率化や改善を図ることは十分に可能 ○ 効率化や改善の余地が大きい</p>		
<p>■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>				
<p>■今後の方向性</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <p>○ I. 拡充 ○ II. 継続 ○ III. 縮小</p> </td> <td style="width: 50%;"> <p>○ IV. 廃止・休止 ● V. 完了</p> </td> </tr> </table>			<p>○ I. 拡充 ○ II. 継続 ○ III. 縮小</p>	<p>○ IV. 廃止・休止 ● V. 完了</p>
<p>○ I. 拡充 ○ II. 継続 ○ III. 縮小</p>	<p>○ IV. 廃止・休止 ● V. 完了</p>			